



日刊日曜日
日休月一廿月廿五日
日休月一廿月廿五日
日休月一廿月廿五日
日休月一廿月廿五日
日休月一廿月廿五日
日休月一廿月廿五日
日休月一廿月廿五日
日休月一廿月廿五日
日休月一廿月廿五日

有栖川宮更生資金 花瓶賜與の光榮

縣下で唯一名の志賀澤之助氏 農事功勞に顯著な事績

有栖川宮記念更生資金は昭和七年高松宮殿下の恩召を以て創設され主として農山漁村の福祉を増進する目的の下に其の振興開發に關し獎勵助成のため毎年一月及び六月の二回に亘り農事功勞顯著なものに銀製花瓶を賜與されてゐるが本年は縣下に於て唯一名の石城郡泉村大字玉露字湯台通三〇志賀澤之助（六三）氏が其の光榮者に選まれ同家の一族を擧げて感激してゐる

志賀氏は縣信組合理事 玉露農事行組合長に現職し會て縣農會、大日本農會からも表彰された篤農家で農業も經營の改善と努力により有利である信念から大正十二年新嘗祭獻酬作を命ぜられた時王露部落共有田を設置して今日に繼續し泉村湯台間の村道を改良し農事技術員を置いて現泉青年學校の前身農業補習校を設置し小學校にミシンや訓練用鐵砲を寄贈した堆肥倉庫設備を創設し各戸にこれを見る今日を完成し家庭方面では十九夜講を發起して台所改善を圖り養鶏組合を設立せる等悉く氏の提唱を以て實現したるもので今日の玉露には負債あるものなく平均一千圓の貯蓄を有

今年の新年度末首は 近年にない活況か

炭鑛を筆頭に鐵工業その他 軍需景氣に惠まれる石城

石城地方に於ける舊年度末に近年の瀬を中間とした財況は殊づく財況は新年末首の緊張がに年末の活況に於て平町各銀行にも異常な動きを示した農村金融の王座である農銀支店

明年度の計画工事 役場前通りの舗装

延長百八十四間巾員六間を 總工費五千圓を以て

平町では別項所報の如く来る十八日の土木委員會に於て明年の土木工事の個所を調査の筈だが右工事の個所は道路橋梁等を合せて四十一ヶ所を算し目立つた計画としては町役場前通り平野貨物ホーム入口の舗装縣道から才樋小路地内小野新町平線（縣道）に至る延長百八十四間巾員六間の舗装進行で中央三間を車道とする硬質舗装から兩側各一間

常識講座

ビンぼけは寫真をうつした場合ビン（焦點）がぼやけたことを云ふのだが轉じてぼんやりな人間、又は要點のぼやけたもの、意味にも使ふ、焦點のことはフオーカスと呼ばれてゐる

つて仕入に費されたものは物價の先高と本年の好景氣に備へたものらしく而して來る舊年末は剩すところ二十餘日となつた本月下旬から新曆のそれよりも更に活況を見せるであらうと豫想され常銀平支店の如き仕入資金の融通に胸算れ、六十萬圓を置かれてゐる模様の如き炭鑛を始め鐵工その他比較的軍需インフレーションに惠まれてゐるもの、多い地方としての今年の舊年度末首は相當の活況を呈するものと窺はれてゐる

昨夕急行貨物車で トラック突飛さる

木戸驛南踏切に於ける椿事 積荷車台諸共滅茶

昨十四日午後五時六分頃常磐線木戸驛南踏切に於て折衝進行の青森發開田川行八五〇急行貨物の急め木材運搬のトラックが突飛された椿事があつた貨物自動車は田村郡郡路村の岩井澤一四渡邊彌角所有運轉手岩井（四〇）助手同村松本政義（四〇）向双葉郡川内村上川内秋元徳一（三三）で何れも運轉手に乗つてゐたが白岩は車後部もなく死亡秋元は前部打撲受傷の重態松

平町諸團 十三日會

日鮮融和に就て：幸昌俊（大正十年七月）金君は朝鮮人で正十年七月）金君は朝鮮人で政治を論議したとて齋藤正人君から大森勇に與へて十三日會を論ずると云ふ公開状態をきつけられて散々油を絞られた跡始末に困つた様に見える

人生の目的：子爵前田利定（九月）前田子爵は加藤友内閣の逓信大臣清浦五ヶ月内閣の

濱通り一の肥料問屋 不正品販賣から收容

縣の差押まで無視する暴舉 無證券の配合肥料二千俵

石城郡四倉町の宇田一丸肥問屋日本農事鈴木治作（五三）は資産數十萬圓と云はれる濱通り切つての肥料問屋であるが昨年七月茨城縣佐貫前高橋肥料製造所から配合肥二千俵を仕入れて販賣するに當り制規の保證書を付さず性分の足りないものを賣つたため残り百俵の在庫品を縣から差押られ取調中であつたところから封印破壊並に積領罪で昨十四日令狀執行平形所に收容された

甘い老人

甘三圓

石城郡草野村の泉崎大場小太郎（七三）は昨十四日夕平町五丁目うどんや菊屋車菊地やい方で一杯やつてゐる所へ來合せた秋田縣鹿野郡尾去澤村生れ山本まき（三三）と稱する魔

遊興歸りに窃盜

遊興歸りに窃盜

石城郡内郷村の宮宮龍五六歳鐵坑夫關根榮吉（三三）は夫る三日夜同村料理店福島屋車菊地五丁目方に登樓して隣宅の際登樓客である村内鈴木菊次所

牧野改良の補助

牧野改良の補助

石城郡山前村の佐久間留藏氏は今同農省から牧野改良費補助二百八十圓を交付された

優勝旗披露式

優勝旗披露式

石城郡四倉町の武道大會に於て優勝旗を獲得した双葉郡大久村の武徳分會では来る二月十一日紀元節に於て同村役場で披露會を催すと

植電配當一割

植電配當一割

石城郡植田町の植田水電では十一年度下半期決算の總會を近く開かれるが本期配當は七分で外に特別配當三分をなす筈で都合一割の配當である

姦通の告訴

姦通の告訴

石城郡湯本村の市市萱字根古屋二〇材木商清野忠（三〇）妻みつ（三七）は忠との間に三人の子である身に於て自家に入する同村農會田常一（二〇）と夫の目を忍び姦通してゐたが今回常一と共に清野の爲め平署に姦通の告訴さる

鋸一挺で檢舉

鋸一挺で檢舉

石城郡好間村の上好間字田代原野安齋まつ（三三）は獲臘二十六日同村居住の大工藤丸山春次郎所有の鋸一挺價三圓六十錢を窃取したこと發覺して平署に檢舉さる

馴染茶屋で自殺

馴染茶屋で自殺

石城郡湯本町の入山採炭坑夫安達郡針道村生れ小林茂之助（三三）は去十三日深夜會て行

今夜は北西の風

今夜は北西の風

明日は北西の風、晴（後曇）
（小名瀬測候所）

きつてゐる同町三三料理店米川屋方へ登樓家人の隙を見て猫イラズを嚙下自殺したが原因は厭世の爲め

産業方面

薬劑施用で

馬鈴 二度作

(下) 岩手農試試験場が
従来春作馬鈴薯の種は舊薯
と稱して前年の春作に生産し
たものを使用してゐる地方
も活力の旺盛な新薯即ち前年
秋作生産のものを使用するこ
とが可能となり収量が増加す
ることになった、右について
川上技師は語る、

この發芽促進法によれば岩
手、秋田以南は今後二度作
が可能になるでせう、馬鈴
薯ばかりでなく、菊芋、グラ
ヂオラス等の休眠するもの
に對しても濃度を變へて應
用出来ます、なほ反常収量
を示せば、

アローローズ薯、大薯
一三三貫、中薯一九六貫、小
薯一五二貫、計四六一貫、▲
同新、大薯四三九貫、中薯
一四七貫、小薯一〇〇貫、計
六八六貫
岩手四號薯、大薯四六四
貫、中薯二四〇貫、小薯一
〇九貫、計八一四貫▲同新
大薯六五七貫、中薯二三八
貫、小薯一五二貫、計九三
一貫、

で新しい使用によつて収量が
増加することは品種によつて
異なり岩手四號の如く萎縮病
に抵抗力の強いものは増加の
割合が低いけれどもアロー
ローズの如く萎縮病抵抗力の
弱いものは増加の割合が高い
此の成功は東北地方への大
なる吉報で川上技師の藥劑施
用の發芽促進による馬鈴薯二
度作は同栽培に對しての畫期
的發見と云はれてゐる(完)

各専門醫擔當
磐城共濟病院
院長 醫學博士 長 谷部喜久
電話 四六一番 町平

町屋紺平
藤沼醫院
番七〇五電

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平町南町 電話二五八番

入院隨時、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 **五十嵐雄二**
平町新川町「電話三六九番」

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
平町新川町二七(電話四六四)
醫學博士 北川芳夫
技師 小林良次
入院デキマス
〔血液検査毎日〕
イツデモ

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平町大工町 電話五九二番

醤油味噌
たひら正宗
鯉節食料品
お醤油は ヤマフル
山崎合名會社
電話一營業部 二〇番
本店 二七番
明治生命磐城代理店 **山崎與三郎**

開院
皮膚科 泌尿器科
性病科
江尻醫院
醫學博士 江尻伊三郎
平町田町(舊山内醫院跡)電話六九二番

諸毒下りの大妙藥
安流丸
平町五丁目角
持約山野邊藥局

入院應需(自炊の便あり)
明雲堂眼科醫院(電話六六九)
田町(平三丁目裏川岸通)
「看護見習募集」

洋服は
高島屋
注文並に既製品
今冬流行物
澤山入荷致しました
高島屋洋服店
平町二丁目 電話三八六

最も有利な利殖法
時下相場により御相談に應
じます
一、債券買付 最も安いで八掛迄御貸
付致します
一、福利貸付 各證券による年一割責任配
當保証付(年四割配當予想)
一、當籤の無 回別と番號を御知らせ下さ
れば調査の上御報知申上げ
料調査
平町仲間町(申込次第詳報呈上)
横山商店債券部
電話二七一番
― 掛番東京九〇六一〇

和洋鋼鐵、金物問屋
益屋商店
九九・九電

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦を特設いたし
皆様の御用向へ身元確實なる婦人を
派出致します
平町南町
電話三〇七
平看護婦會
會長 清野キヨ
御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭
經濟的を御使
官御用命をお
願ひ致します